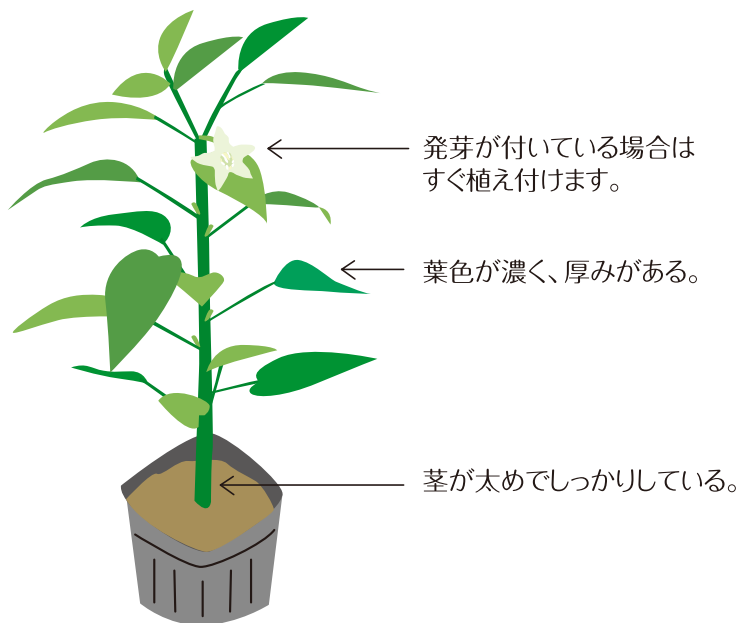




## 1 苗の選び方

小苗の場合はビニールポットで管理をし、苗を選ぶときは本葉6～10枚程度で、節間の短い苗を選ぶようにします。



## 2 畑の準備・植え付け

### 土作り

植え付けの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて深く耕し土作りを行う。

**土作り**  
良菜健穂：10坪あたり3～4kg  
大地：10坪あたり100kg  
コフナ：10坪あたり30kg

### 元肥・うね立て・マルチ張り

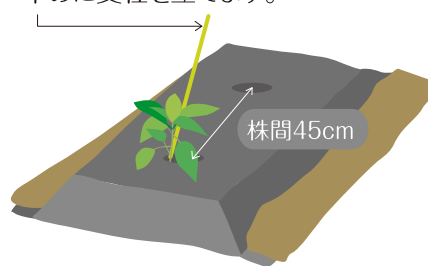
植え付けの7日前までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てを行った後マルチを張ります。

**元肥**  
有機盛々：10坪あたり9～10.5kg

### 植え付け

植え付けの前日に、苗にたっぷり水をやっておくと、植え付けの時の根鉢の崩れが防げます。5月上～中旬、地温が上がってから植え付けをします。植え付けのときに深植えをしないように注意をし、たっぷりとかん水を行います。

**仮り支柱**  
枝が弱く風で折れやすいので、早めに支柱を立てます。

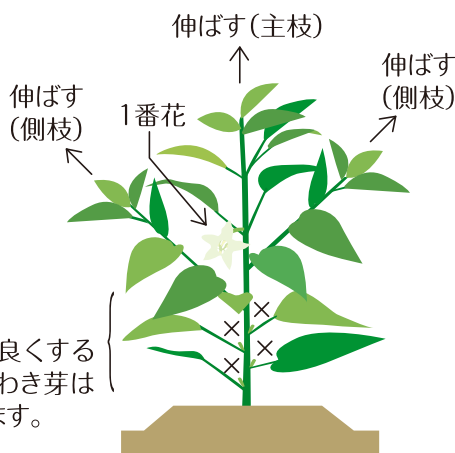


## 3 整枝(仕立て方)

### 実付きを良くするための整枝

主枝に1番花がついたあと、その下から出る勢いの良いわき芽2本を残し、それ以下のわき芽は摘み取って、主枝とわき芽(側枝)2本の、3本仕立てにする。

実付きを良くするため下のわき芽は取り除きます。



## 4 誘引

ピーマンは枝が細く、伸びてくると横に広がるので、支柱を立てるよう誘引します。混み合う枝葉は間引き、株全体の日当たりを良くしましょう。

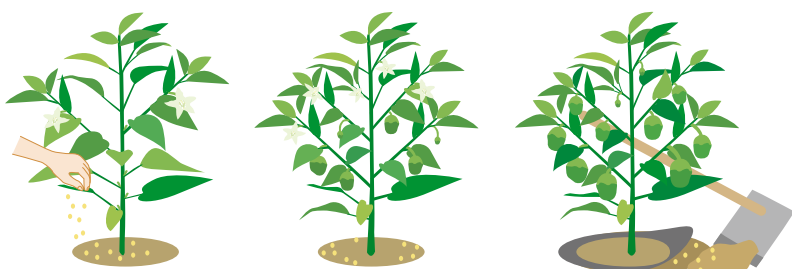
3本仕立ての仕上がり

育つにつれ枝柱を増やし、枝を固定する。



## 5 追肥・土寄せ

ピーマンは、生育期間が長いので肥料切れに気をつけます。株が大きくなるにつれ、株元より離れた位置にまきます。



■ 第1回目追肥  
(花が盛んに咲き始めた頃)  
「千代田550」を軽くひと握り程度、(約40～50g)株元にまく。

■ 第2回目追肥  
(収穫初めの頃)  
1回目の追肥より、株元から離れた位置にまく。

■ 第3回目追肥  
(2回目の追肥から半月おきを目安)  
マルチをめくり上げて肥料をまき、くわで通路の土うねに寄せ上げる。

## 6 収穫

開花後15～20日で、収穫できるようになります。

ピーマンの枝は折れやすいので、ハサミで切る。

1番果(最初にできる実)は、大きくなる前に、早めに収穫します。朝どりした方が水分が多く美味しいものが採れます。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地					🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱
暖地				🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱
寒冷地					🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱	🌱

🌱 種まき期  
🌱 植えつけ期  
🌱 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止